

# 『SGLT-2 阻害薬の初期腎機能低下に及ぼすレニン・ アンギオテンシン系抑制薬および利尿薬の影響に関する研究』

【目的】 SGLT-2 阻害薬は、腎保護作用を有するが、投与初期に一過性の腎機能低下が報告されています。アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬やアンギオテンシン変換酵素阻害薬においても、同様に報告されています。利尿薬は体液量の減少による腎機能へ影響を及ぼす可能性があります。これらの薬剤を併用した際に、SGLT-2 阻害薬の服用開始初期にみられる、一過性の腎機能低下の程度にどのような影響があるかを調査します。

【期間】 研究許可日～2025 年 7 月 30 日

【方法】

＜対象となる患者さん＞

2014 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日までに当院でイプラグリフロジン（スーグラ<sup>®</sup>）、ダパグリフロジン（フォシーガ<sup>®</sup>）、ルセオグリフロジン（ルセフィ<sup>®</sup>）、トホグリフロジン（デベルザ<sup>®</sup>、アプルウェイ<sup>®</sup>）、カナグリフロジン（カナグル<sup>®</sup>）、エンパグリフロジン（ジャディアンス<sup>®</sup>）のいずれかの SGLT-2 阻害薬による治療を受けた方。

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：なし

情報：診療録

【試料・情報の管理責任者】

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター 院長 細野 昇

## ◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星丘 4-8-1

TEL (072) 840-2641 (代)

所属・職名 薬剤部・部長

研究責任者 佐原 敏之